

【地域の現状・課題】

- 高齢化・人口減少に対応して、担い手の確保、地域農業を支える仕組みづくりが必要。
- 中山間地域の農地は狭小不整形・急傾斜など、生産基盤が脆弱であり、効率的な営農が困難。
 - ・ 20年間(H7⇒H27)の動き
 - ・ 農業就業人口 約2.5万人減少(▲約48%)
 - ・ 農業就業人口に占める65歳以上の割合 42%から59%へ増加 (+17%)
- 被害額は減少傾向にあるものの鳥獣被害対策の取組強化が必要。

中山間地農業ルネッサンス推進事業

- 中山間地域の農業を支える経営体(中山間農業複合経営拠点/集落営農法人)の事業戦略の策定からPDCAサイクルのフォローを、専門家が一元的に支援(H30～R2)

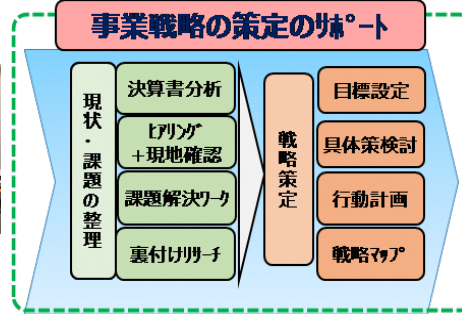
<取組概要>



専門家がワークショップで経営体の課題と対策を整理
 ※中山間農業複合経営拠点は、中山間地域の核となる経営体(JA出資型法人、市町村農業公社、第3セクター等)で、地域で稼ぐ取組と地域を支える取組を複合経営する組織

- 集落営農法人の育成と経営強化及び組織間の連携を進めるための研修会などを開催(H29～R2)

事業戦略の策定のポイント

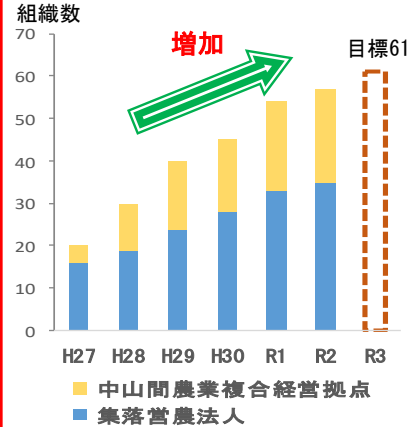


事業戦略の策定・実行支援による中山間地域の農業を支える仕組みの強化

【中山間地農業ルネッサンス推進事業】

事業の効果

- 中山間農業複合経営拠点、集落営農法人の数が増加することで、地域農業を支える仕組みが拡大



多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援 (優先枠)

- 区画整理、暗渠排水など生産条件改善のための基盤整備の実施
 - 中山間農業複合経営拠点、集落営農法人の組織化・経営強化による生産体制の確立
 - 農泊等を推進するための体制整備
- 【農業農村整備関係事業、農業経営法人化支援事業 等】

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承 (優先枠等)

- 鳥獣被害防止対策の取組強化、集落協定の広域化や多面的機能支払制度の実施面積拡大等による地域資源の保管理体制の強化・充実など、地域を下支えする取組を展開
 - 有機農業をはじめとした環境保全型農業のさらなる普及拡大
- 【鳥獣被害防止総合対策交付金、中山間地域等直接支払交付金 等】

【地域の位置】

高知県 大川村を除く全域

(指定地域:過疎、振興山村、特定農山村、半島、離島)

